

地域密着型サービス評価結果報告書

法人名	有限会社ライフサポート
代表者名	代表取締役 松井 寛
事業所名	まるおかデイホーム
評価確定日	令和6年3月22日

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社ライフサポート	代表者	松井 寛	法人・事業所の特徴	当事業所は丸岡城の北東に位置し、近隣には小学校、その周りに住宅街が広がっている。木造の建物で、1階には通所介護と当事業所、2階にはグループホームと棟続きとなっており、日常的に事業所間の交流が行われている。送迎時には家族や近所の人からたくさんのお花や野菜をいただくなど、地域や馴染み人たちとのつながりを維持している。
事業所名	まるおかデイホーム	管理者	豊本 定麗		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	1人	1人	1人	2人	3人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者の情報を多職種のスタッフそれぞれが共有することに加えて、ケアプランについても把握するように努める。	利用者の情報をカルテや口頭伝達でスタッフ間の共有を行った。ケアプランについても、スタッフが把握に努めた。	利用者の情報の共有は進んだものの、スタッフのより共有やケアプランの把握の度合いに差が見られた。	スタッフにより利用者情報の共有やケアプランの把握に差があり、今後はスタッフの教育を強化していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き利用者が過ごしやすいような環境整備に努め、コロナ禍の収束後は地域の方々との交流も図っていく。	新型コロナウイルスの感染症分類は2類から5類に変更になったものの、感染が続き地域との交流はごく限られていた。	新型コロナ5類変更後も度々集団感染があり、利用者及び家族の安全のため地域との交流が限定的なのは致し方なかった。	新型コロナウイルスほか感染症の状況を見ながら、地域との交流を少しずつ以前のように戻していく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍収束後は事業所と地域の方々との関わりを増やしていき、情報発信も定期的に行っていく。	上記の通り、新型コロナウイルス感染症区分の5類変更後も度々集団感染があり、地域との関わりは限定的だった。	上記の通り、新型コロナウイルス5類以降後も度々集団感染があり、地域との関わりが限定的であったのは致し方なかった。	新型コロナウイルスほか感染症の状況を見ながら、地域との関わりを少しずつ以前のように戻していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍の収束後は地域に出向いての利用者の暮らしを改善する取組みを増やしていくように努める。	上記の通り、新型コロナウイルス感染症区分の5類変更後も度々集団感染があり、地域に出向く取組みは限定的だった。	上記の通り、新型コロナウイルス5類以降後も度々集団感染があり、地域に出向いての取組みが限定的であったのは致し方なかった。	新型コロナウイルスほか感染症の状況を見ながら、地域に出向いて本人の暮らしを支える取組みを少しずつ以前のように戻していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ禍の収束後は運営推進会議を再開して、地域の方々、利用者、ご家族の声をより活用していくように努める。	新型コロナウイルス5類以降にともない、運営推進会議を通常開催出来るようになり、地域住民や多職種と関わりを持てるようになった。	運営推進会議の通常開催を通して、地域住民や多職種の方との意見交換が進むようになったのは、運営上意味のあることであった。	引き続き、運営推進会議を通して地域住民や多職種の方との意見交換を行い、事業所の効果的な運営を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	コロナ禍の収束後は、防災訓練に対して地域の住民との関わりをより多く持つように努めていく。	上記の通り、新型コロナウイルス感染症区分の5類変更後も度々集団感染があり、防災訓練に対する地域の住民との関わりは限定的だった。	上記の通り、新型コロナウイルス5類以降後も度々集団感染があり、防災訓練に対しての地域の住民との関わりが限定的であったのは致し方なかった。	新型コロナウイルスほか感染症の状況を見ながら、防災訓練に対しての地域の住民との関わりをより多く持つように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月8日(15:30~16:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	3人	0人	12人

前回の改善計画

新規利用時の初回サービス提供後にその結果の共有や確認を行い、必要に応じたカンファレンスを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

忙しくても情報共有に目を通し、スタッフ間の確認をする。
短い時間でも毎日のミーティングを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	3	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	3	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	6	4	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	4	0	12

できている点

本人・家族・介護者の要望をアセスメント記録より把握している。
医療面での情報は看護師と情報共有している。
ケアプランはしっかり把握するように努めている。本人のニーズ、情報を共有できている。

できていない点

利用者本人を支える為に家族、介護者の不安を受け止め、関係づくりの為に配慮が出来ていない。
色々な問題があってもケアマネに頼りがち。
利用者の思いに添えられず、言葉づかいが強くなってしまい不安になる時がある。

次回までの具体的な改善計画

スタッフが細かい情報等まで周知できていない為、担当者会議、送迎時等に家族と話す機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月15日(14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	0人	12人

前回の改善計画	日々の利用者の言動の違いの変化等、都度の特記を記録して情報を共有し、リーダーにも報告した上で必要に応じてミーティングでも発言し共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の情報等を申し送り、ノートに記入し、より細かい情報の共有が少しずつ出来てきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	7	2	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6	4	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	4	0	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	4	2	12

できている点	体調に応じ利用者本人のやりたい事に対応している。本人との会話や情報等からの本人の「～したい」を探し実際にやってみて反応を見ながら対応する。 ミーティングで情報交換が出来ている。
--------	---

できていない点	利用者全員となる関わりを持つ事が難しい事もあり把握出来ていない。 新規利用者は情報のみで関わりが難しい事がある。 利用者の「～したい」を引き出す力がついていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	アセスメント、モニタリングへのスタッフの参加を増やすことで「～したい」の目標やそれに基づいたプランの再確認になる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月21日(14:30~15:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	0人	12人

前回の改善計画
客観的に観察し、主観的な支援や記録にならないように気をつける。

前回の改善計画に対する取組み結果
サービス評価を作成するまでに記入シートを作成する事ができなかったが、申し送りノート、連絡ノート等に記載し情報共有を行うようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	6	4	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	6	3	1	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	3	2	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	4	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6	4	0	12

できている点
情報提供や職員間のやり取りで以前の暮らしの理解をしている。
コミュニケーションを取りながらチームで話し合うことが出来ている。
気づいたことはすぐに対応するようにしており、家族に相談、病院等に医療連携を取れるようにしている。

できていない点
申し送りノート等に記載できていない事もあり情報を知らない事があった。
ミーティングに参加が少なく、会議録に目は通しているが、内容を確認しきれなかった。

次回までの具体的な改善計画
利用開始すぐにはまだ関係性も出来ておらず利用者から引き出す事は難しく、時間をかけて日々のサービスの中でのコミュニケーション力にて引き出されることから得た情報をノートに記入して情報共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月22日（14:00～15:00）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	6人	0人	12人

前回の改善計画	地域との関わりを持ちながら暮らしてきているが、高齢により関わりが少なくなっている。一人一人にあった地域資源（町内、医療機関、薬局、スーパー、公的機関、介護サービス等）の活用を模索し、その人らしい暮らし方に添えるよう話し合っていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	関わりのある方に施設の方からも連絡等を図り本人様への関係が途切れないようにしている。また地域の行事、イベント等にも積極的に参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	5	4	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	4	5	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	5	4	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	5	4	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 状況や本人とのコミュニケーションの中で理解している。 今までの生活スタイル、人間関係は理解している。しかし、日々の中で少しずつ変化している様子は理解していない。ケアプランなどを参考し情報収集に努めている。
--------	---

できていない点	在宅時の過ごし方について（認知症がある為）把握できないところがある。 地域資源を活用できているか、把握できない部分がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	今まで使っておられた地域資源を利用開始時のアセスメントでは把握し、つながりが途切れないようにする。関わりがある方については、本人や家族の了解を得て担当者会議に参加して頂き、担当職員も関わりが持てるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月7日（15:00～16:00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	6人	4人	2人	12人

前回の改善計画
 月のミーティングや朝礼時に利用者の少しの変化について話し合をし、ケースに残すようにし全職員で共有する。看護の申し送りノートを作成し、職員全員で共有できるようにしておく。
 地域の資源がどれだけあるか、職員が興味を持って調べる。

前回の改善計画に対する取組み結果
 近隣の住民、区長、民生委員等（一部）に話しをして理解は得てもらえたものの、消極的な感じだった。スタッフ全員に周知を図る事ができたが、地域資源が上手く活用できるかが難しいのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	4	5	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	5	4	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	6	4	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	5	3	2	12

できている点
 家族の都合や本人の体調により泊りなど利用しやすい対応が来ている。
 臨機応変、柔軟な対応が来ている。
 利用者のニーズの変化にすぐ対応できている。

できていない点
 地域資源を使っても支援できている人と、できていない人がある。
 資源の活用までの流れが上手く来っていない。
 地域資源についてあまり共有ができてないので理解が少ない。

次回までの具体的な改善計画
 通い、宿泊、訪問サービスを柔軟に提供していくことを心掛けていく。
 本人の変化に気づき、在宅生活を継続していく為に、どのような支援が必要か話し合っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月16日(14:30~15:30)

6. 連携・協働

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	6人	0人	12人

前回の改善計画	地域の行事の情報を集めて、感染症対策を充分に行った上で参加できそうなものに参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の行事、イベント等に一部の利用者には対応は出来たが、出来なかった利用者がいました。 (認知症状、持病の悪化等)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	4	4	2	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	4	4	2	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	3	6	1	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	8	4	12

できている点	他の会議、研修等は何とか出来ている。 他のサービス期間との会議は必要に応じて行っている。
--------	---

できていない点	医療機関、他事業所との連携があまりとれていない。 (管理者、ケアマネ、看護師が対応) コロナの影響もあり、イベントへの参加や地域の方に来てもらうことがあまりできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	地域の行事の情報を集めて、感染症対策を充分に行った上で参加できそうなものに参加していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月15日(14:00~15:30)

7. 運営

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	4人	0人	12人

前回の改善計画
チームの関係の構築を図っていく。
地域と協働で行える取り組みを考えて、地域の皆様には挨拶を継続し避難訓練時は協力して頂けるようお願いする。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者。家族からの意見は全体で共有しチーム関係の構築に努めている。
避難訓練時は地域の協力を得て一緒に行得れるよう挨拶や行事参加等に参加していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	3	6	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	6	2	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	7	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	2	8	2	12

できている点
スタッフ間、チームワークが良くなるよう気づいた時や改善した方がいい事を言うようにしている。
利用者、家族からの意見は全体で共有する事ができている。

できていない点
地域課題を考えていく点が不足している。
コロナの影響で地域の方々との交流が少なかった。

次回までの具体的な改善計画
避難訓練、火災訓練等で協働できるよう地域と連携を図って行く。
スタッフへの意見を言い合える環境作りをしていく。
運営推進会議をとおして地域と協働できるような取り組みをしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月22日 (14:00~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	1人	12人

前回の改善計画
スタッフの分からない事など勉強会を開催し、スキルアップに繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
(技能実習生) 言葉、介護、技術面で、もっともっと勉強内容を盛り込んだ方が良いと思った。外部研修は、あまり参加できなかったが、社内勉強会は開催する事ができた。新人スタッフに対して

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	4	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	4	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	0	10	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	0	4	8	12

できている点
ヒヤリハット・事故報告書の確認をし同じことが起きないように意識して業務にあたっている。勉強会、研修等、積極的に参加した。

できていない点
ヒヤリハット、事故報告書等のスタッフ間の情報の共有が出来ていない事がある(パート)外部等のスキルアップの為の研修にあまり参加できていない。

次回までの具体的な改善計画
研修に積極的に参加し自分自身のスキルアップを目指して行く。
ヒヤリハットの報告書を挙げ未然に事故を防げるようにする。
リスクマネジメントに関して、ヒヤリハット報告の段階で事故につなげないように、その都度、対策を行い周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月23日（15:00～16:00）

9. 人権・プライバシー

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	4人	2人	12人

前回の改善計画

利用者の人権や尊厳を大切にしながら、プライバシーや個人情報の保護に努めていく。
 継続して身体拘束、虐待の勉強会を実施する。それに繋がる言葉使いを含めて振り返り、思いを持って対応、言葉かけを行うように意識しミーティングでも発信していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

申し送り、会議、また業務中にスタッフ間での声掛け。
 身体拘束、虐待のないケアに取り組む事ができた。
 プライバシーの配慮に関して配慮しているつもりだが「うっかり」と言う場面が時々見受けられたので都度、注意喚起してきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	10	2	0	0	12
③	プライバシーが守られている	3	4	4	1	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	2	10	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	2	0	12

できている点

スピーチロックしないように心がけている。
 排泄、入浴に関わらず本人が恥ずかしいと感じるケアをしないように心掛けている。
 意識して丁寧な言葉かけをしている。プライバシー、虐待は心掛けている。勉強会には参加できていないが言葉使いや思いやりは常に心がけている。虐待はしていない。個人情報は漏らす事はない。

できていない点

成年後見制度の理解ができていない。伝えたくても職員の個性が強く伝えられない。プライバシーの配慮が足りていない。排泄時や入浴時カーテンが開いている時がある。自分だったら どうなのか？考える。
 言葉使いが友達のような使い方をしている時があった。自分の意見に自身がないから発言できない。

次回までの具体的な改善計画

スピーチロック、言葉使いを含めて振り返り、思いを持って対応し易い声掛けを行うように意識しミーティングでも発信していく。
 継続して身体拘束、虐待の勉強会を実施する。